



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

# 日本共産党荒川区議会議員 斉藤くに子 区政ニュース



2023年8月6日No1331号

区役所直通3802-4627  
fax3806-9246

メール: arajcp@tcn-catv.ne.jp

区議団http://www.jcp-arakawakugidan.jp/くに子ブログhttp://s-kuniko.jugem.jp/

## 学童クラブ事業運営で虚偽報告発覚

7月22日の産経しんぶんが報道。新宿区から学童クラブなどの運営委託を受けていた「ワーカーズコーポ」で、実態のない職員が勤務していたように報告していたことが、6月中旬の内部情報提供を受けての調査で判明した。

荒川区も学童クラブ、にこにこスクールやふれあい館、若者相談わかの運営に関わっており、実地聞き取り調査を行った結果、学童クラブとにこにこスクールで同様のことが起きていた。

### コロナ禍で職員確保出来ず?

区は9月始めの文教子育て委員会までに詳細をまとめ、報告することになるようだ。



尾久小学童クラブは80名定員で4名・峡田小学童は60名で3名の職員体制が基準となっている。しかし、ここ3年は人材不足でこの体制を遵守出来ず、日誌には架空の職員名を記載していた。

荒川区の学童クラブの9割は民間委託。放課後子ども教室(にこにこスクール)もすべて民間に事業を任せている。ワーカーズコーポに限らず職員確保を大変だと思う。改めて全体の状況把握が必要である。

### 監査や実績評価はなし

保育園は巡回指導や定期監査が行われ、運営費報告も提出させる。ふれあい館も毎年、第三者が入って実績評価を行っているが、学童クラブ等は事業者任せになっていた。今後、10年での公募制や指導監査・事業者間意見交換会などを検討するようだ。

### 安心して過ごせる学童保育に

大規模学童など環境も不十分なところが多く、指導員の処遇は大変低い。委託を進めて現在、直営は2つのみ。

(労働者協同)ワーカーズコーポ	2か所	峡田・尾久小
(学法)遊遊山	5か所	南千住4丁目・二塚小・二塚小・赤土小・東日暮里・六日小
(社協)上智社会事業団	6か所	南千住第一第二・三塚小・四塚小・五塚小・大門・尾久西小
(社協)番社社	4か所	汐入・汐入小・汐入東小・七塚小
(社協)東京福祉事業協会	1か所	三日小
南マミーインターナショナル	4か所	南千住六丁目・九塚小・ひぐらし小・ひぐらし
南日本ディケアセンター	2か所	西尾久・二日小
荒川区直営	2か所	花ノ木・熊野前
合計: 民間委託24カ所・区直営2カ所		

民活路線の見直しや、本来の専門性に見合った賃金保障の検討が求められる。

検証し具体的な提案もしていく。現場からのご意見をぜひお寄せください。

### 区委託事業者が虚偽報告

新宿児童館など運営取り消し  
「ワーカーズコーポ」が運営していた新宿児童館など、虚偽報告が発覚したため、運営が取り消された。区は関係事業者への指導や、今後の委託事業の見直しを進めている。

## ★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時～

## 8月第一(月)はお休み

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活相談は随時随時に対応します。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コムパス花の木停留所前)

Tel/Fax 3806-5134

コロナウイルスとの関係で定例法律相談は完全予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

予約は先着順とします。前日までに予約がない場合は中止します。

## 夏休みの学童保育で常態化



### 早めに出勤、職員の善意任せ

記事の中で、全国学童保育連絡協議会事務局次長の千葉さんは「大事な仕事。きちんと賃金を払うべき」「学童は心身共に発達し、人との関わりの上でも大切な経験を重ねる時期の子どもたちの命を預かり、成長を支える場。それが軽んじられていないか」と。荒川区も、同様のようだ。この点で見直しも緊急に求められる。

7月31日の東京新聞一面トップにも学童クラブの労働条件についての報道見出しが... これも江戸川区の学童非常勤職員から届いた訴えだ。出勤時間は8時。しかし子どもが来るのも夏休みは8時。子どもと一緒に出勤では、どう考えても準備が出来ないので20分前には出勤。ところが勤務時間には含まれず、サビ残業。記事の中で、全国学童保育連絡協議会事務局次長の千葉さんは「大事な仕事。きちんと賃金を払うべき」「学童は心身共に発達し、人との関わりの上でも大切な経験を重ねる時期の子どもたちの命を預かり、成長を支える場。それが軽んじられていないか」と。荒川区も、同様のようだ。この点で見直しも緊急に求められる。

## 都営住宅の募集～申込書配布は9日(水)まで

家族向～ポイント方式

☆一般住宅	入居人数	地区番号	住宅名	戸数
◆2人以上		18001	町屋六丁目	2
		18002	町屋八丁目	1
		18003	南千住四丁目	1
		18004	町屋六丁目第2	2
		18005	町屋五丁目第3	1
◆3人以上		18006	町屋六丁目第2	1
		18007	西尾久八丁目第2	1
◆4人以上		18008	町屋八丁目第2	1

☆再開住宅

◆2人以上		00074	南千住八丁目	1
		00075	南千住八丁目第2	1
		00076	南千住八丁目第4	1
		00077	南千住八丁目第4	1

抽選方式

☆一般住宅	地区番号	住宅名	戸数
単身者	177	町屋六丁目	1
	178	西尾久八丁目第2	3
	179	町屋八丁目	1
	180	東日暮里一丁目	2
	181	町屋六丁目第2	1
単身シルバーピア	715	南千住四丁目	2
☆病死等空き室			
単身者	525	東日暮里一丁目	1

郵送申込: 8月16日(水)午後6時まで  
募集センター必着  
オンライン申込: 16日まで

## 朝の開所準備業務と認めず

### 都内1区で「サビ残業状態」

7月31日の東京新聞一面トップにも学童クラブの労働条件についての報道見出しが... これも江戸川区の学童非常勤職員から届いた訴えだ。出勤時間は8時。しかし子どもが来るのも夏休みは8時。子どもと一緒に出勤では、どう考えても準備が出来ないので20分前には出勤。ところが勤務時間には含まれず、サビ残業。記事の中で、全国学童保育連絡協議会事務局次長の千葉さんは「大事な仕事。きちんと賃金を払うべき」「学童は心身共に発達し、人との関わりの上でも大切な経験を重ねる時期の子どもたちの命を預かり、成長を支える場。それが軽んじられていないか」と。荒川区も、同様のようだ。この点で見直しも緊急に求められる。



住宅は生きる土台。自己責任ではなく政治の責任で都営住宅の増築を家賃助成を

# 夏休みに子ども議会開催

齊藤くに子は2022年9月の本会議で子ども議会開催について質問をしました。

## 【質問】

6月15日に放映されたNHKのクローズアップ現代「崖っぷち?!投票率は上がるのか」国政選挙の投票率の低下がテーマでした。そこで注目



されたのが、投票率が高い山形県遊佐町の少年議会の取組です。

少年議会は19年前、人口減少が進む中、若い世代のアイデアを取り入れて、地域を活性化する狙いで始まったと言います。

本格的な選挙公報も作り、少年議員と少年町長を子どもたちによる選挙で選び、少年議会を開いて、予算45万円をつけて自ら考え、議論して政策を具体化し、実行しています。

中学2年生のときにサークル感覚で気楽な気持ちで議員に立候補し、議員2期、町長3期を務めた青年は、自分たちのことを自分たちで考えるというのはすごく面白くて、少年議会の取組を各地に普及させる活動に力を入れています。

投票率が低いことを若者の責任にしているのではないのでしょうか。若者は選挙に関心がないのではなく、政治が身近に感じられない環境を大人がつくっているのだと思います。

荒川区も以前子ども議会を開催したことがありますが、形式的でした。

遊佐町のように、本格的に有権者教育の一環として、子どもの意見表明権を区政の場で具体化する一つとして、教員の指導で行うのではなく、中高生の自主的取組として中高生議会を検討すること」

## 【区政広報部長答弁】

区においては、区内小中学校の児童・生徒を対象とした子ども議会を平成七年度から平成十四年度まで実施しておりましたが、限られた一部の子どものしか参加できないことや、児童・生徒自身、それに指導する教員の負担等、様々な課題があり、終了した経過がございます。

現在、区では、子どもたちに区政をより身近なものとして認識してもらい、地域の一員としての意識を育むため、区報ジュニアの発行や生徒会選挙への選挙管理委員会事務局職員への応援派遣、模擬選挙体験の実施、中高生リーダー養成講座、それに加えて、地域団体との連携による中高生の主張発表会など、子どもたちが区政に触れ、自身の考えや意見を表現する機会を設けているところでございます。

区といたしましては、引き続き次代を担う子どもたちが様々な形で区政に参画すること等を通じて、自分の考えや思いを自由に表現することができるよう取組を継続してまいります。

○8月29日(火)13時～15時(予定)

○荒川区役所5階の区議会議場

○区内の中学校から選出された20名の中学生が区政に関する質問を行います。

荒川区子ども権利条例が4月1日施行されたのを受け、子ども議会を開催することになりました。

子どもの意見表明を保障する環境をつくるのが大事です。

「学校のルール、校則で???と思うことはありませんか」

「自分たちの将来と日本の社会や地域で起きていることを重ね合わせて考えてみませんか」

「大学の授業料高い過ぎると思いませんか」

中学生のみなさんの率直な意見・提案がされることを期待したいと思います。



## 町屋6丁目のドン・キホーテなど9月閉店 「買い物難民」が増えないか心配です

町屋のドン・キホーテは営業時間が夜中3時までとなっているが、9月4日3時に閉店となるとホームページに掲載されていた。

ドンキは2011年12月2日にオープンで12年間の営業だ。思い起こすと、この場所は大型小売店舗「マルエツ」が2006年撤退した後は、

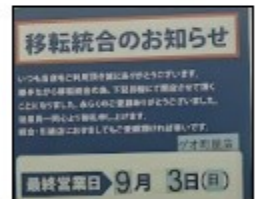
「コジマ電気」「スギ薬局」と出店を撤退が繰り返された。どうも解体されて、その後はマンションになるのではないかとされているが、まだ正式な届けは出ていない。

町屋地域は、プラスワンに続いてドン・キホーテもなくなり、チョットした身の回り品を買う店がなくなり買い物が大変不便になるとの声が多い。



### ※完全閉店のお知らせ

町屋店は、9/4(月)3:00をもちまして完全閉店いたします。開店以来ご愛顧いただき、誠にありがとうございました。



## 水道管の耐震化は 発災後の消防と生活の命綱

水道管の耐震化は、防災上の緊急課題です。

ところが、水道管耐震化は、荒川区48%です(左表)。

2019年当時42%から若干の前進です。

危険度の高い地域だけに耐震化が急がれます。

	水道耐震化		地震時断水率		
	継手率	断水率	継手率	断水率	
千代田区	33%	30.1%	渋谷区	38%	31.5%
中央区	36%	45.1%	中野区	43%	13.0%
港区	44%	33.2%	杉並区	49%	12.9%
新宿区	31%	15.6%	豊島区	34%	21.4%
文京区	36%	25.1%	北区	42%	31.2%
台東区	33%	46.4%	荒川区	48%	46.8%
墨田区	44%	51.3%	板橋区	55%	20.7%
江東区	57%	50.2%	練馬区	61%	8.5%
品川区	46%	29.7%	足立区	52%	48.7%
目黒区	43%	24.7%	葛飾区	54%	59.5%
大田区	54%	52.1%	江戸川区	62%	54.8%
世田谷区	46%	22.4%	区部合計	49%	33.2%

※断水率は、都心南部直下地震で想定

断水すれば、消火栓も使えず、発災後の生活や衛生確保もできません。都は避難所関連の耐震化は完了としています。

日常生活の上でも、水の確保は重要です。耐震化を早めめることが求められます。

### — 耐震継手のしくみ —

地震のゆれに対して、挿し口突部がロックリングにあたり管の抜け出しを防止します。

